

## 所蔵作品の修復報告

—昭和42年4月より昭和45年3月まで—

黒江光彦

Rapport de la restauration des tableaux  
dans la collection du Musée (avril 1967—  
mars 1970)

par Mitsuhiko KUROE

### 1

モーリス・ドニ

《トンケデッキのテラス》(P-110)

油彩、板 75×50 cm

画面の洗浄。

### 2

カロリュス・デュラン

《母と子》(P-138)

油彩、カンヴァス 190×130 cm

埃の除去、ニス膜に発生したカビによる黒色斑点の  
除去、麻布の張りの矯正、絵具層への給油。

### 3

デスパニャ

《浴女》(P-139)

油彩、カンヴァス 101×65 cm

麻布の張りの矯正、クサビ補充。

### 4

エッティ

《横たわる裸婦》(P-145)

油彩、カルトン 48.5×68.5 cm

埃など画面の清拭。給油により絵具層の発色をたか  
める。剥落箇所を補彩。

### 5

フジタ

《裸婦》(P-151)

ペン、墨、紙 41×71.5 cm

紙のシワをのばし、額装を改める。

## 6

メナール

《松林》(P-200)

油彩、カンヴァス 50×73 cm

埃の除去。ニス除去。

## 7

モネ

《日を浴びるポプラ並木》(P-210)

油彩、カンヴァス 92.5×73.5 cm

絵具層、地塗塗料の剥落および浮上りの固定。ニスの除去。欠損部分の充填および補彩。

## 8

ドガ

《化粧する女》(P-89)

木炭およびパステル、紙 48×62 cm

画面上部の右から中央にかけて生じた紙のシワは、台紙に紙の四周を貼付けられたために矯正し難く、長い間放置されたために紙面の起伏に沿って埃が付着して不規則な斑をつくっていた。台紙をはずし、シワをのばし、埃を除去。額装の変更。

## 9

フジタ

《自画像》(P-152)

油彩、紙 27.5×22.3 cm

紙面やや中央寄りの縦の折れ目を額装を改装することによって圧着。

## 10

ドニ

《若い母》(P-102)

油彩、カンヴァス 160×97 cm

麻布地の裂傷の接着。

## 11

エンネル

《婦人像》(P-161)

油彩、カンヴァス 127×71 cm

麻布の張りの矯正。

## 12

モネ

《舟遊び》(P-206)

油彩、カンヴァス 145×132 cm

画面中央のウルトラマリン、緑などの絵具層の亀裂および浮上りの固定。

## 13

ヴァン・ドンゲン

《カジノのホール》(P-298)

油彩、カンヴァス 73×54 cm

剥落、欠損部の復元。

## 14

カリエール

《母と子》(P-41)

油彩、カンヴァス 27×40 cm

薄手の麻布地の脆弱化、絵具層に生じた甚しい亀裂に対処して、裏打ち(継統中)。

## 15

エンネル

《音楽家サミュエルの肖像》(P-162)

油彩、カンヴァス 48×37.5 cm

麻布の脆弱体、絵具層の亀裂、剝離に対処して、裏打ち(継続中)。

## 16

ドニ

《字を書く子供》(P-100)

油彩、カンヴァス 37×41 cm

画面上部中央の麻布地の裂傷および同部分の絵具層の欠損に対して、裏打ち(継続中)。

また、修復作業は未だ開始していないが緊急な修復の必要を認めて調査中の作品は――

ドニ

《コンスタンティヌ》(P-97)

デヴァリエール

《聖母の訪問》(P-129)

フィールディング

《ターバット湖》(P-147)